

木製柱の耐久性とデザイン性の向上に「Eキャップ」は有効です。

この様な姿にさせないために・・・



頭部の腐朽は、横木との取付部まで進んでいます。転落防護柵としての機能が保障できない危険な状態です。



柵のロープが今にも外れそうなところまで腐朽が進行。水辺の立入防止柵としての役割を果たせていません。

Eキャップの有用性は実証済です。 (※ 当社は、Eキャップの効果を実証するために、毎年経年変化を独自調査しています)



設置直後のウッドレール



15年経過後のウッドレール



設置直後のウッドレールの柱頭部。



15年経過後のウッドレール柱頭部。紫外線による木材の劣化も割れもほとんど無く、腐朽は全く見られません。取付の効果がはっきり出ています。

1999年に設置のEキャップは、今も健在です。

木の断面が長い間、日光や風雨に晒されると、乾燥による割れ＞雨水浸透による割れの誘発＞腐朽菌の繁殖＞木材の腐朽 となって耐久性が落ち見栄えも極端に悪くなってしまいます。

先人はそんな木材の急所をよく知り銅板で頭部をカバーしてきましたが、なにしろ値段が高く、全てに取り付けることはできませんでした。そこで私達は、量産が可能で軽くて耐久性があり、デザイン性も優れたガラス繊維強化プラスチック(FRP)に着目。様々な実証実験を経て「Eキャップ」の実装備にこぎ付けました。

バスタブから船や新幹線車両まで、様々な用途、場所で活躍しているFRPは素材としての信頼と実績は申し分ありません。当社に於いては木製防護柵「ウッドレール」の開発当初からEキャップも標準装備しており、1999年の実績第一号(道路公団のサービスエリア:当時)の現場では、表面の塗装は紫外線により薄くなっているものの、骨格の劣化は全くなく、今も‘健在’です。



様々な形状のEキャップ



1999年に設置したウッドレールのEキャップ

— 各製品の詳細に関しては、京都府森林組合連合会もしくはエム工房までお気軽にお問合せください —
(製品個別のパンフレットもございます。合わせてご請求ください)

〈販売元〉
〈設計製造〉
〈技術協力〉

JForest 京都府森林組合連合会
kolso 有限会社 エム工房
yec 八千代エンジニアリング株式会社

大阪支店
社会計画部
道路・交通部

tel 075-841-1030 fax 075-841-1080
tel 0736-64-3886 fax 0736-64-7104
tel 06-6945-9232 fax 06-6945-9303
tel 03-5822-2325 fax 03-5822-2795
tel 03-5822-2409 fax 03-5822-2814